

# 訪問看護リハビリステーション



どうも、みんなで笑顔木のうち訪問看護リハビリステーションのようちゃんです。

みなさん、この前の4月に全盲でヨットで太平洋を横断された岩本さんとダグラスさんを知っていますか？  
一時的にニュースになったので知っていらっしゃる方も多いかもしれません。

実は、岩本さんとは縁があり、自分が通っていた筑波大学附属盲学校時代の先生でした。

今回、岩本先生の講演会があるということで東京まで聞きに行ってきました。

内容を簡単に説明しますと、岩本先生は熊本県天草の出身で、16歳の時に失明し、人生に絶望したそうです。その絶望の中、夢の中で4年ほど前に亡くなったおじさんが出てきて「死んではだめだ、お前の生きる姿を見て、希望を得る人がいるはずだ」と言われたそうです。そこから、岩本先生のチャレンジする人生が始まった！とのことでした。

その後は、英語を学びたいとアメリカに留学されたり、東洋医学を教えたいと筑波大学附属盲学校の教員になられたりと怒涛の日々を過ごされ、あげくには(笑)日本の国家公務員(筑波附属盲の教員)の地位を捨てて、娘さんのために、奥様(アメリカ人)とアメリカのサンディエゴに引っ越すことに決めたそうです。その時はかなり周りから反対されたそうですね。そしてアメリカで妻に紹介されヨットを始めることになったそうです。

そして、2013年に、辛坊さんとヨットで日本からアメリカまで太平洋横断にチャレンジすることになったのです。使ったヨットは以前、間寛平さんが使っていたヨットを使用、華々しくスタートしましたが……

途中でクジラにあたり船は浸水、何とか救助されたものの、世間からはかなりバッシングがあったそうです。

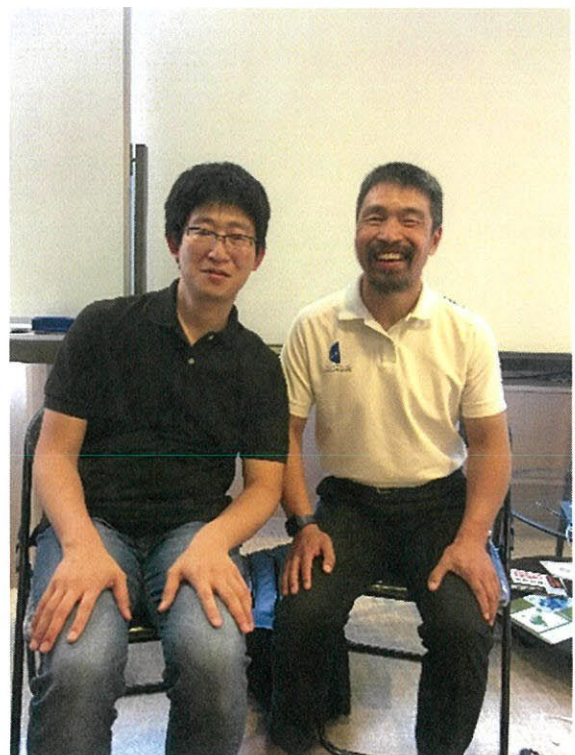
その際、こんな夢は見なければよかった…と岩本さんはかなり悩まれたそうですが、途中から普段自分が言っていたチャレンジすることの大切さ、失敗してもそれをポジティブに変えることをおもいだし、再び奮い立ったそうです。

そして2019年4月、2度目のチャレンジにてヨットを使い、全盲で太平洋横断を実現されました！！もちろん、世界初の快挙です！！



今回の講演会で私は

- ①物事をポジティブに考える事
- ②どんなことにもチャレンジしていく姿勢
- ③物事には必ず意味があり、それに対し感謝をすること



これらのことを改めて学びました。これらのことをまた自分の周りの方にも伝えていければいいなと思っています。これらのお話で、少しでも皆さんの心に届いていただければ幸いです。